

## 〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	・	総合計画	4 節 9 項	国際交流
担当課・係名	企 画 課 交 流 ・ 国 際 ・ I T 係 【問 合 せ ・ 質 問 等 の 先 ( 内 線 番 号 ) 2 0 2 番】				

<b>業務の名称</b>	国際交流音楽祭事業				
(1)根拠法令・条例	なし				
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>15</u> % (係の総業務量を 100%とする) 職員延人数： <u>145</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)				
(3)事業費 (人件費分を除く)	2,203千円(平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))				
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> % (平成18年度実績)				
(5)業務期間	開始した年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	年度	
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)					
業務目的(達成目標)	海外の芸術文化の紹介により、外国人と小学生の交流を促進するなど国際理解教育の推進に努めるとともに、ホームステイ事業をとおして、ホスピタリティー豊かなまちづくりをめざす。				
業務が対象とする住民(地域・層)	町内の小学生及び住民				
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	チェコ共和国の少年少女民族舞踊団を招き、長久手の小学生が交流の時間や踊りを通して交流し、海外の芸術文化やお互いの生活習慣を理解する国際理解事業を実施した。 各小学校による合唱とリハーサルの空き時間を利用した舞踊団員との交流、舞踊団の演技の鑑賞を内容とし、終了後は、舞踊団員がホームステイし、住民との国際交流を深めた。				
業務の実施結果 (平成18年度実績)	チェコ少年少女民族舞踊団「ヤヴォルニーチェク」を招き、小学生による合唱と舞踊団による演技の鑑賞の2部構成により実施した。 舞踊団、小学生を含めた関係者208名と一般入場者600名が参加した。 舞踊団員25名が13家庭にホームステイした。				
	【業務結果の説明指標】				
	結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
	1 国際交流音楽祭入場者数	742人	808人	800人	800人
	2 ホストファミリー受入家庭数	9家庭	7家庭	13家庭	25 家庭 (1人/家庭)
	3				
	4				
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】				
	成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
	1 国際理解の推進	実施	実施	実施	実施
	2 外国人との交流の促進	実施	実施	実施	実施
	3				
	4				
	5				

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
平成20年度から事業対象の小学校が1校増えるため、事業内容の変更（スケジュール、参加人数など）が必要

(8)改善実績（過去3年間の実績）
これまで、小学生と舞踊団員の交流の時間について、限られた時間の範囲内で交流が持てるように時間配分や通訳補助など、改善を行っている。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均4.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	芸術文化を通じた国際交流は今後も続けていく。 交流の内容と方法については、学校からの要望等勘案し、必要な改善を図りながら進めていきたい。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
学校単位での国際理解教育に役立つような事業展開も検討する。